

発 言 通 告 書

発言者氏名	加藤眞道
発言の会議	平成30年 2月28日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 組織について

(1) 政策推進部について

- ア 本市の未来図を描くのは政策推進部であり、その描いたものを実際に形にしていくのが各担当部局の役割であるという考え方について
- イ 横須賀の復活を早めるための政策推進部増員の必要性について

(2) 文化スポーツ観光部について

- ア 観光立市基本計画で示された観光客数及び観光消費額目標値の継続について
- イ 商業振興課が来年度の組織変更で経済部から文化スポーツ観光部に移管する意図について

(3) 美術館について

- ア 集客における美術館の利用価値について
- イ 美術館の活用方法に対する考えについて

- ウ 美術館の教育委員会から市長部局への移管について
- (4) 再任用・人材育成について
 - ア 再任用職員の行政センター館長としての配置について
 - イ 職員の先進的な取り組みを行っている他都市への視察について
 - ウ 職員研修に地域資源を実体験できるカリキュラムを組み込む必要性について
 - エ 政策条例の制定する意義と実効性について

2 海洋都市構想について

- (1) さまざまな施策が「海洋都市」に関連していることへの市民の認識度について
- (2) 市長記者会見時のバックパネルや広報誌・各行政センター窓口等への「海洋都市横須賀」をイメージさせるロゴや文言の掲示について

3 「経済・産業の再興」について

- (1) 民間企業・研究開発機関等との連携について
 - ア 市長の考える「民間企業、研究開発機関などとの連携」の具体的な内容について
 - イ 同連携により目指し、期待するものについて
 - ウ 海洋関連産業の創出・集積に向けた実験フィールドの整備について
- (2) 久里浜地区の拠点市街地再開発の促進について
 - ア JR久里浜駅周辺の現状認識について
 - イ JR久里浜駅周辺のまちが線路により分断され、交通結節点機能の充実を図る上で大きな障害になっていることに対する

解決方法について

ウ 京急久里浜駅と J R 久里浜駅の連携強化に向けた具体的な考えについて

エ J R 久里浜駅周辺市街地再開発への J R と京浜急行の協力を得るための取り組みについて

オ 横浜 F・マリノス練習拠点移転計画の拠点市街地再開発促進への展開について

(3) 港湾政策について

ア 久里浜港での「みなとオアシス」を他港に広げる考えの有無について

イ 新港の恒常的に収益が上がる「稼げるインフラ」としての活用の検討について

4 観光立市の実現に向けた環境づくりについて

(1) 追浜地域のスポーツを核としたまちづくりについて

ア 商店街との連携事業等の消費拡大に向けたソフト面での行政支援について

イ 横浜 D e N A ベイスターズの拠点の最寄り駅が追浜駅であることを周知するための取り組みを京浜急行に協力要請する必要性について

ウ 来年度のファン感謝デー開催に関する同球団との協議状況について

エ 地元球団として地域の一体感を醸成する効果を踏まえた新入団選手歓迎式の開催について

(2) 横須賀の魅力について

ア 市民に横須賀を愛する気持ちを持ってもらうための取り組みについて

イ 市民に違った角度から横須賀のよさを知ってもらうために

2階建てバスの活用を検討する必要性について

ウ 京浜急行企画の「よこすか満喫きっぷ」への市の関わりについて

エ 首都圏からの観光客に消費してもらうことの観光立市戦略における重要性について

5 歴史遺産の活用促進について

(1) 北郷地区における歴史遺産の活用促進について

(2) 貝山地下壕の早期一般公開の実現について

6 「海洋レジャーの拠点づくり」について

(1) 深浦ボートパークの有効活用について

(2) 同ボートパークでの市主催事業実施に向けた検討の必要性について

7 「地域で支え合う福祉のまちの再興」について

(1) 保護観察対象者や出所・出院者等に対する支援について

ア 市の直接雇用等の就労支援について

イ 市内企業・団体等の協力雇用主に対し入札時に加点する等の間接的就労支援について

ウ 市営住宅の一部開放について

(2) 犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする活動に対する市長の考えについて

8 認知症に伴う徘徊について

- (1) 現在の市内認知症高齢者推計人数の認識について
- (2) 「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」における事前登録の状況及び成果について
- (3) 認知症高齢者の徘徊に対する市独自対策を実施する考えの有無について

9 将来を担う子どもたちの学習のあり方について

- (1) 学習支援について
 - ア 親の経済状況にかかわらず子どもの生活や教育機会が保障される必要性について
 - イ 子どもの生活支援や教育機会の保障はよりよい未来のための投資であるとの考えに対する見解について
 - ウ 親の経済状況により子どもが教育を受けられないことは、社会的損失を生み出すことにもなるとの考えに対する見解について
 - エ 本市が進めている低所得世帯の子どもに対する学習支援の特徴、成果及び今後の展開について
 - オ 小学生から学習習慣を身につけさせるために行っている現状の方策及び今後の取り組みについて
 - カ 放課後子ども教室の所管部局の妥当性について
- (2) 教育機会の保障について
 - ア 児童相談所における一時保護児童に対する来年度の教育機会の提供について
 - イ 一時保護児童に対する教育における行政としての責任について

10 自然・人文博物館について

- (1) 同博物館の現状に対する所見について

- (2) 自治体博物館としてのあり方を踏まえた年間を通して1つの分野に特化して学ぶクラブ活動のような場を市民へ提供する必要性について
- (3) 同博物館での海洋に関する教育を通じたキャリア教育への寄与について
- (4) 市内研究機関との連携による博物館の新たなビジョンの提示について
- (5) 市長の考える博物館の理想像について

11 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者における労働規定や就業規則への協定書の内容変更を踏まえた行政のかかわりについて
- (2) 市の要望を実行できない場合のペナルティーの有無について
- (3) 選考時の合格基準の妥当性について
- (4) よりよいサービスを提供するための競争性確保の必要性について
- (5) 1者のみの応募により契約となった場合に一層の要望を行う必要性について